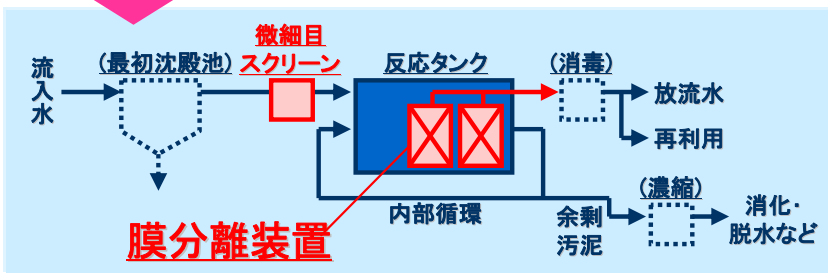
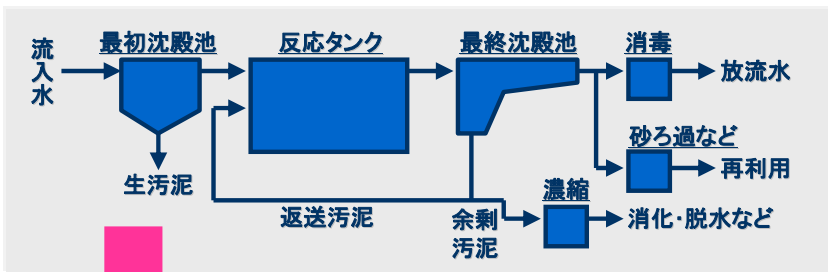


膜分離活性汚泥法 (MBR)

膜分離活性汚泥法 (Membrane BioReactor, MBR) は、固液分離に「膜」を使用する活性汚泥法です。

■ MBRの特徴

従来の活性汚泥法



完全な固液分離が可能

- 浮遊物質 (SS) の含まれない清澄な処理水が得られる
- 処理水の衛生学的安全性の向上
→ 消毒工程を省略可能
- 凝集・砂ろ過工程の省略が可能となり、処理水再利用のコスト低減

活性汚泥の高濃度化が可能

- 反応槽MLSS濃度を高く (8~10g/L程度) 設定できる
- 反応槽容量の縮小が可能
- SRTの長期化により、汚泥発生量が減少

施設の省スペース化が可能

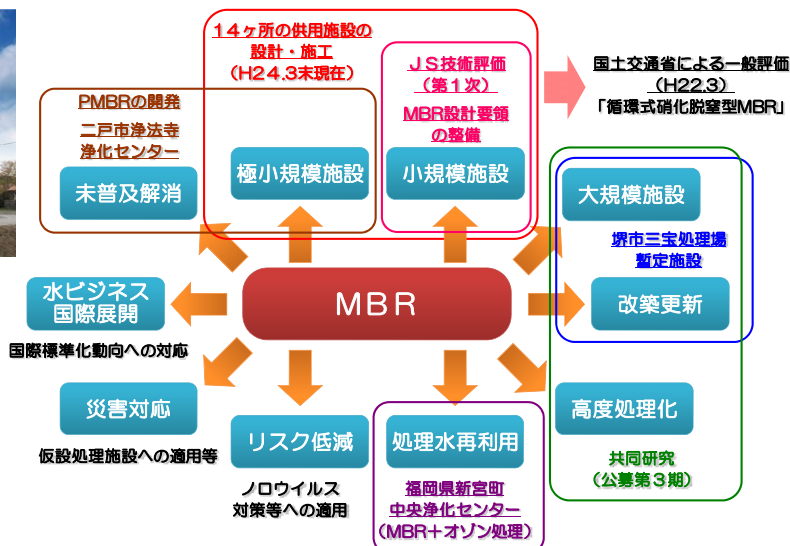
- 最初、最終沈殿池等の代替となるため施設全体がコンパクトになる

■ MBRの多様な展開

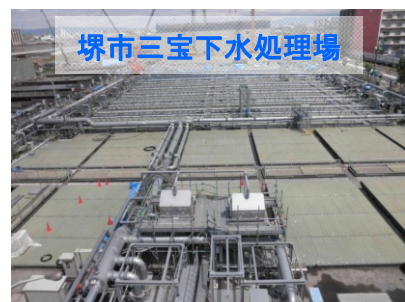
MBRは、その優れた特徴から、様々な用途への適用が可能です。



PMBR第1号機 (H22.4供用開始)



わが国初のMBR施設 (H17.3供用開始)



わが国最大(6万m³/日)、わが国初の大規模改築適用のMBR施設 (H23.3供用開始)